

## 令和4年度教育研究活動報告書

氏名	信木 伸一	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（教育学）広島大学	職位	教授
専門分野	国語教育学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	国語教育学専門演習a、国語教育学専門演習b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、教育原理、教育の方法と技術、教育の方法と技術・教育におけるICT活用、教職実践演習、フィールドワーク
大学院	国語教育学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）言語文化教育史	
（2）伝統的言語文化の学習論	
（3）リテラシーの学習理論	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R4・R3・R2	
R4 〈論文〉明治期中学校読本教科書の編者作成教材における「普通文」―新保磐次『中學國文讀本』から弘文館『中學國文讀本』への改変― （『国語教育研究 第六四号』広島大学国語教育会 2023.5発行予定）単著	
R3 〈学会発表〉明治期中学校国語教科書の編者作成教材における「普通文」其二―新保磐次『中学國文讀本』から落合直文『中等國文讀本』・塩井正夫『中學國文』・物集高見『新撰國文中學讀本』の場合― （全国大学国語教育学会『国語科教育研究 第141回 世田谷大会 研究発表要旨集』2022.10）単著 〈論文〉明治期中学校読本教科書の編者作成教材における「普通文」―新保磐次『中学國文讀本』・落合直文『中等國文讀本』・塩井正夫『中學國文』・物集高見『新撰國文中學讀本』の場合― （『国語教育研究 第六三号』広島大学国語教育会 2022.3）単著 〈論文〉学生の言語運用能力のパフォーマンス評価―「研究発表」のループリックから― （尾道市立大学芸術文化学部紀要 第21号 2022.3）共著	
R1 以前の主な研究業績	
〈著書〉『明治初期和文教科書の生成―『本朝文範』における「普通文」への歩み―』（溪水社 2017.12）単著	
〈論文〉「主体的な学習活動でめざす学び」（『教職支援センター紀要第1号』尾道市立大学 2020.3）単著	
〈論文〉「新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」その2 ―編者作成教材における文体的試みと三土忠造『中學國語讀本』への改変―」（『国語教育研究 第六一号』広島大学国語教育会 2020.3）単著	
〈論文〉新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」―教材「藤樹先生」の典拠からの文体的変容― （『国語教育研究 第六〇号』広島大学国語教育会 2019.3）単著	
〈論文〉明治初期教科書『本朝文範』における「普通文」への歩み ― “旨趣の標”の近世古典注釈からの継承と近代教科書としての加工 ―（『日本教科教育学会誌 第39巻2号』日本教科教育学会 2016.9）単著 査読付き	
〈論文〉明治初期和文教科書の生成―『本朝文範』を中心に―（博士学位論文、2016.9広島大学）単著 査読付き	
〈論文〉明治教科書『本朝文範』の生成―近世からの脈絡と明治教科書としての創出― （『国語科教育 第七十八集』全国大学国語教育学会 2015.9）単著 査読付き	
〈論文〉古典学習における主題単元のテーマの設定 ―「学習者にとっての問題調査」から― （『教育学研究紀要 第60巻』中国四国教育学会 2015.3）共著	
〈研究報告書〉2012～2014年度科学研究費補助金基盤研究（C） 小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究（渡邊春美、信木伸一、武久康高、富安慎吾 2015.3）共著	

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R2・R3・R4			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
全国大学国語教育学会、日本文学協会、日本教科教育学会、広島大学国語教育会（理事）、尾道大学日本文学会			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）（件数は追加可）			
（1）尾道市立栗原中学校公開研究会 講師			
公開講座		回	
講演会		1 回	
出前授業		回	
その他（ ）		回	
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道市立栗原中学校学校関係者評価委員会	委員	2回
	尾道市個人情報保護審議会	委員長	2回
	尾道市情報公開審議会	委員長	2回